

米子工業高等専門学校		開講年度	平成31年度 (2019年度)		授業科目	社会科学Ⅰ（後期）	
科目基礎情報							
科目番号	0054			科目区分	一般 / 選択		
授業形態	講義			単位の種別と単位数	学修単位: 2		
開設学科	電子制御工学科			対象学年	4		
開設期	後期			週時間数	2		
教科書/教材	プリント配布						
担当教員	原田 桃子						
到達目標							
(1)今日にいたる世界の発展をヒトの移動という側面から把握できる。 (2)多民族国家が抱える諸問題の考察を通して、歴史的な見方、考え方を身につける。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安			標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目(1)	今日にいたる世界の発展をヒトの移動という側面から非常によく把握できる			今日にいたる世界の発展をヒトの移動という側面から概ねよく把握できる。		今日にいたる世界の発展をヒトの移動という側面から把握できない。	
評価項目(2)	多民族国家が抱える諸問題の考察を通して、現代社会の問題について歴史的に物事を非常によく考えられる。			多民族国家が抱える諸問題の考察を通して、現代社会の問題について歴史的に物事を概ねよく考えられる。		多民族国家が抱える諸問題の考察を通して、現代社会の問題について歴史的に物事を考えられない。	
学科の到達目標項目との関係							
学習・教育到達度目標 A-2 JABEE a							
教育方法等							
概要	この講義は、本校の教育目標のうち「社会と自らを高める発展力」を養う科目である。具体的には、多人種・多文化社会として成り立つイギリス社会が抱える問題を歴史的な文脈から考察する。						
授業の進め方・方法	講義形式およびグループワークで授業を進め、適宜プリントを配布する。 また、次のような自学自習を60時間以上行うこと。 ・授業内容を理解するため、予め配布したプリントで予習する。 ・授業内容の理解を深めるため、復習を行う。 ・課題を与えるので、レポートを作成する。 ・定期試験の準備を行う。						
注意点	質問がある場合は、休憩時間か、火曜日16時～17時をオフィスアワーとするので、研究室に来ること。						
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	授業ガイダンス・「ヒトの移動」のイメージを掴む		「ヒトの移動」という言葉が持つイメージを捉えなおし、問題点が何かを考えられる。		
		2週	現代社会の「ヒトの移動」を巡る諸問題		現代社会の移民・難民問題について、日本や他の地域の取り組みを理解し、問題点を考えられる。		
		3週	多民族・多文化社会イギリス		現在のイギリス社会の多民族・多文化の側面について理解し、あらゆる問題に知識を活用できる。		
		4週	イギリス帝国の発展		イギリス帝国の発展について理解できる。		
		5週	イギリス帝国と「ヒトの移動」		イギリス帝国の発展について「ヒトの移動」の観点から読み解ける。		
		6週	イギリス帝国の変容と国籍の議論①		イギリス帝国の変容のなかで国籍についてどのように議論されてきたのかを理解できる。		
		7週	イギリス帝国の変容と国籍の議論②		イギリス帝国の変容のなかでの国籍の議論に関する問題点を知識を活用し考察できる。		
		8週	中間試験				
	4thQ	9週	移民法の制定①		第二次世界大戦後のイギリスでの移民法の展開を理解できる。		
		10週	移民法の制定②		第二次世界大戦後のイギリスでの移民法の展開に関する問題点を知識を活用し考察できる。		
		11週	人種関係法の制定		第二次世界大戦後のイギリスでの人種関係法の展開について理解し、知識を活用して問題点を考察できる。		
		12週	移民の流入と住宅問題		イギリスの住宅事情と人種差別との関係を史料を用いて考察できる。		
		13週	移民の流入と教育問題①		イギリスの公教育の変遷と人種差別との関係を理解できる。		
		14週	移民の流入と教育問題②		イギリスの公教育の変遷と人種差別との関係を、史料を用いて考察できる。		
		15週	移民とメディアの関係		イギリスのメディアと人種差別の関係を史料を用いて考察できる。		
		16週	期末試験				
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標		到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	社会	地理歴史的分野	世界の資源、産業の分布や動向の概要を説明できる。		3	後2

				民族、宗教、生活文化の多様性を理解し、異なる文化・社会が共存することの重要性について考察できる。	3	後1,後2,後3,後4,後6,後7,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15
				近代化を遂げた欧米諸国が、19世紀に至るまでに、日本を含む世界を一体化していく過程について、その概要を説明できる。	3	後4,後5,後6,後7
				帝国主義諸国の抗争を経て二つの世界大戦に至る日本を含む世界の動向の概要を説明し、平和の意義について考察できる。	3	後4,後5,後6,後7
				第二次世界大戦後の冷戦の展開からその終結に至る日本を含む世界の動向の概要を説明し、そこで生じた諸問題を歴史的に考察できる。	3	後7,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15
				19世紀後期以降の日本とアジア近隣諸国との関係について、その概要を説明できる。	3	後2
			現代社会の考察	現代社会の特質や課題に関する適切な主題を設定させ、資料を活用して探究し、その成果を論述したり討論したりするなどの活動を通して、世界の人々が協調し共存できる持続可能な社会の実現について人文・社会科学の観点から展望できる。	3	後3,後4,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15

評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	60	0	0	0	0	40	100
基礎的能力	60	0	0	0	0	40	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0